

会社案内



株式会社 アースリー

東京都知事許可(特・4)第130199号

Company profile



防水工事、外壁工事から建築物のリフォームまで、
建物の維持・修復に関することなら、何でもお気軽にお問い合わせください。

株式会社 アースリー

【本社】〒190-1214 東京都西多摩郡瑞穂町むさし野3-1-15
TEL.042-513-0388 FAX.042-513-0358
【小平営業所】〒187-0032 東京都小平市小川町1-462-3 第2レグマション202
TEL.042-313-5688 FAX.042-313-5690
東京都知事許可(特・4)第130199号
<http://www.earthly-ltd.jp>

お問い合わせ・お見積もり【無料】



0120-570-386

8:00~19:00(定休日:日曜日)

工事は、休日でもご対応いたします。

201811

■ 代表挨拶

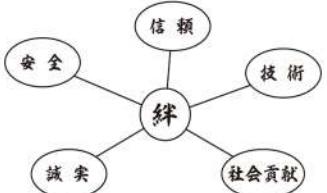
平素は格別のご高配を承り、誠にありがとうございます。当社は防水工事専門業者として事業を開始し、お客様の多様化するニーズに応えるため日々進化するさまざまな工法・技術を学び、その多くを吸収してきました。今日では一般戸建て住宅からビル・工場・公共施設・マンションの大規模修繕工事などの大型物件も施工できる会社へと成長しています。

人に悩みを相談されたとき、人が困っているとき、手を差し伸べる謙虚な姿勢を大事にしています。建物に関しての悩みや相談も同じで、お客様に何を求められ当社で何ができるのかを考え、迅速に対応し、お客様に喜んでいただきたい。そして感謝をしていただきたい。そうしてできた人と人の絆を大切にすることが安心や信頼につながり、当社の成長の一一番に支えてきたのだと思います。

近年、建物設計に関する偽造事件が問題となり、建築の信頼は非常に揺らいでいます。建築の中でも防水工事は「長期保証・メンテナンス」と切り離せず、一度の工事で終わるものではありません。施主様とは深い絆を作り、お客様の大切な建物を今後もお守りできればと思っています。

「信頼」「安全」「技術」「誠実」「社会貢献」

企業理念



会社概要

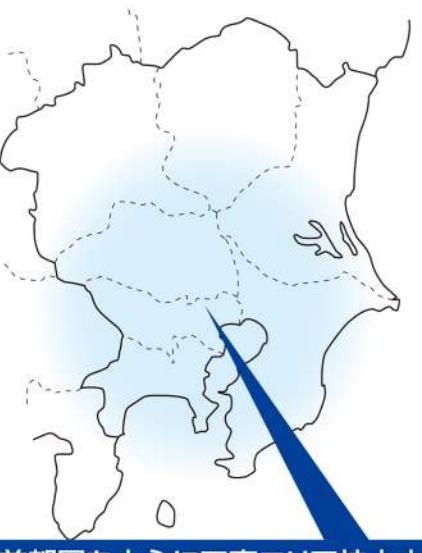
商 号 株式会社 アースリー
本 社 〒190-1214 東京都西多摩郡瑞穂町むさし野3-1-15
TEL.042-513-0388 FAX.042-513-0358
小平営業所 〒187-0032 東京都小平市小川町1-462-3 第2レクマション202
TEL.042-313-5688 FAX.042-313-5690

創立 平成10年4月
設立 平成13年10月25日
清算 6月
従業員数 11名
直雇工 40名
代表取締役 小山 司
専務取締役 畑山慎太郎
常務取締役 菅野大喜
営業品目 建築工事全般／大規模修繕工事／各種防水工事／超速硬化型ウレタン吹付
外壁下地補修工事／シーリング工事／塗装工事／内外装リフォーム工事
許可等 許可等 東京都知事許可(特・4)第130199号
資格取得者 1級防水技能士8名／有機溶剤作業主任者10名
1級建築施工管理技士4名／2級建築施工管理技士2名
樹脂接着剤注入技能士3名／1級土木施工管理技士2名／1級造園施工管理技士1名

加盟工業会 一般社団法人全国防水工事業協会／サラセーヌ工業会
コニシペステム工業会／ダイフレックス工業会
スプレーウレタンウレア工業会
事業内容 雨漏れ調査、補修／ウレタン塗膜防水各種(通気緩衝工法、密着工法、その他)／超速硬化ウレタン吹付け各種
シート防水各種(合成ゴム、塩ビ、その他)
アスファルト防水各種(熱工法、冷工法、トーチ工法、その他)
FRP防水／開放廊下、階段、パルコニー長尺塩ビシート貼り付け
内部廊下、室内床CF(クッションフロア)貼り付け
各種塗り床工事／外壁塗装／外壁下地補修(劣化調査、マーキング、図落とし、浮き部、クラック部、欠損、爆裂部等の補修)
内外装リフォーム／各種施工管理



「管理」と「施工」の



外装工事

Exterior work

外装工事は定期的に行う必要があります。「いつ・どのタイミングで施工すればいいのか?」まずはお気軽にご相談ください。私たちプロの目で状態をしっかりと確認・把握し、最適な工法で対応致します。

仮設工事 安心の技術でお応えします。

工事に関する確かな知識と技術力で、様々な工事において確かな技術でお応えいたします。

■足場仮設

■無足場工法ロープ作業

■ゴンドラ作業、高所作業車

外壁補修 外壁を守って、建物を守る

外壁は、面積が広い上、ひび割れや雨漏りなどが起こりやすい部分。小さなひびも見逃さず、丁寧に施工します。

施工個所

外壁コンクリート下地、塗装面、タイル面、サイディング

施工手順

●外壁劣化調査

目視また、打検による調査を行い、ひび割れ部、浮き部、欠損部その他劣化箇所を図面に落とし、調査報告書と共にお客様に提出し、わかりやすく説明いたします。

施工方法

●ひび割れ部補修

ひび割れ(クラック)の太さに応じて、補修方法を選定、施工。
(例、フィラー擦込み、Uカット工法、低圧注入、ダイレクトシール)

●浮き部補修

浮き部にドリルで穴をあけ、エポキシ樹脂を注入後ステンレスピンで軀体と表面部を固定し、外壁崩落の防止。
(例、部分エポキシ樹脂注入工法、全面エポキシ樹脂注入工法)

●欠損部補修

外壁の欠損部、軀体内部の鉄筋劣化を起因とする欠損部を除去し、防錆処理を施し、樹脂モルタル等で成形補修。
(例、エマルジョン系樹脂モルタル成形、エポキシ樹脂モルタル成形)

●タイルひび割れ 欠損部補修

外壁仕上げタイルのひび割れ、欠損箇所を撤去し、下地処理後新規タイルを貼り付ける。

付帯工事

雨樋支持金物交換、雨樋交換、その他、新築時の不具合是正

こだわりポイント

ひび割れからの漏水、浮き部の崩落(モルタル及びタイル)などは建物の経年劣化によって懸念される症状です。補修完了後、塗装やタイル貼りなどで隠れてしまします。当然のことですが、劣化部の調査漏れ、補修漏れのないよう心がけています。

集合住宅・戸建住宅から、各種施設・建築物に関する補修工事・塗装工事をお考えの際は、お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。

塗装工事 卓越したプロの塗装工事

下地処理から、仕上げまで。施行箇所に応じた様々な方法や最適な塗料で、確かな安心をお約束します。」

■外壁塗装面の下地補修後新規塗り替え

■タイル面などの撥水材塗布

■玄関枠や手摺、その他鉄部の塗装

「全面工事をするほどではないが、防水や外壁のひび割れが気になる」「あまり大きなコストをかけたくない」という場合には、部分修繕も提案させていただきます。足場を設げずにゴンドラやブランコなどを使用して、大がかりにならない外壁工事を行うことも可能です。

シーリング 建築物の防水性・気密性を守る

水漏れや穴をふさぐのに何気なく使っているシーリング。状況に応じ、秀でた施工技術が求められます。

施工個所

外壁打継目地、サッシ廻り、タイル目地、サイディング、パネル廻り、キッチン廻り、バス廻り、その他取合い

施工手順

●シーリング打替え

既存のシーリング撤去 → 清掃 → マスキングテープ貼り → プライマー(接着剤)を塗布 → 新規シーリングを充填 → ヘラ仕上げ → マスキングテープ除去 → 作業完了となります。

施工方法

施工部位(被着体)によって材料の選定があります
(単純に分類すると以下のようになる)

●塗装仕上げの部分

ポリウレタン系シーリング材(ノンブリード)

●コンクリート系下地

ポリサルファイドシーリング材

●金属系下地

变成シリコーン系シーリング材

●キッチン等水回り

シリコーン系シーリング材

※又、目地の挙動の有無で接着方法も異なります。

ワーキングジョイント(2面接着) ノンワーキングジョイント(3面接着)

付帯工事

ガラス廻りのシーリング打替え等

こだわりポイント

シーリング材の厚みの確保、適材適所

株式会社 アースリー

0120-570-386

8:00~19:00(定休日:日曜日)

アースリーでは、建物の構造に合わせて最適な工法をご提案。多様な工法で万全をご提供します。

防水の工法 状況に合わせた最適な工法をご提案いたします。

- ウレタン塗膜防水
- 塩ビシート防水
- アスファルト系防水
- FRP防水
- 超速硬化型ウレタン吹付け
- 合成ゴム系シート防水
- ポリマーセメント系塗膜防水
- 防滑シート貼り長尺塩ビシート
- 無足場工法ロープ作業
- ゴンドラ作業、高所作業車

●エキスパートとして納得のご提案をいたします。
工事には上記のような様々な工法あり、木造、RC構造(鉄筋コンクリート造)、鉄骨ALC造などさまざまな構造毎に最も適した工法をご提案致します。
お客様のご要望を最優先に考えた上で、防水工事のエキスパートとしてより良いプランをご提案し、ご納得の上で着工いたします。
もちろん万全のアフターケアをお約束致します。



工事に関して 資産価値維持の大敵…漏水対策

●防水工事のプロによる修理で漏水を解消!

アースリーは防水工事のプロ! 長年の経験を活かして的確な診断を行い、最適な工事プランを提案します。必ずしも全面的な改修工事ばかりが最善であるとは限りません。大きなコストをかけなくても、ポイントを絞って的確な補修をすれば、問題を解決できるケースも多々あるのです。
当社はお客様のご都合を第一に考え、ご予算に合わせた工事プランを提案させていただきます。お気軽にご相談ください。なお、初回の現地調査、お見積もりは無料で承ります。

■漏水の原因

- 屋根、外壁、バルコニーの劣化
- サッシなどのゆがみ
- 給水、排水設備の不具合

その他、さまざまな要因が漏水を引き起こします。



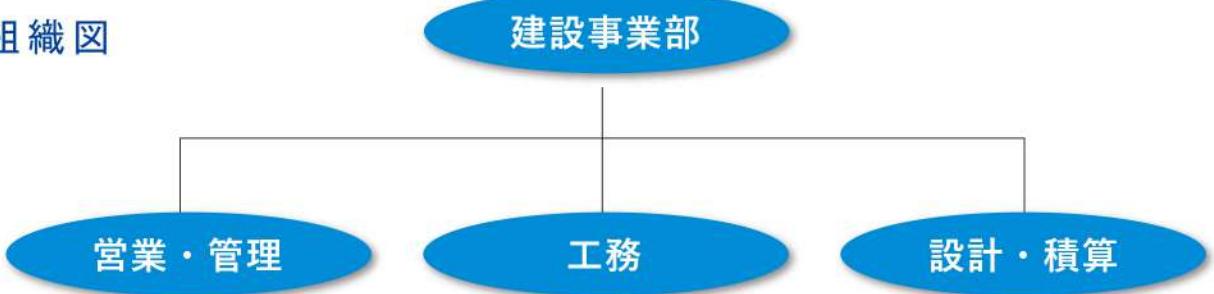
工事の流れ ビル・マンション・アパートの基本的な工事の流れをご紹介します。



一貫した体制で「高品質」の施工をお約束します。

アースリーは東京・埼玉・神奈川・千葉を中心に、ビル・マンション・アパート・戸建ての外装工事・防水工事を承っています。自社専属スタッフによる丁寧な施行と、品質の高い仕上がりで、多くの建物オーナー様より厚い信頼をいただいている。建物の資産価値を保つために欠かせないメンテナンスは、私たちにおまかせください!

■組織図



管理と施工の一括請負により、最適な材料、施工法を選定した高品質なサービス提供が可能です。

アースリーの約束

Promise

アースリーでは、お客様にレベルの高い工事をご提供することを第一に考えています。お問い合わせへの対応から工事完了後のメンテナンスまで、細部にわたってお客様第一主義のサービス・対応を徹底しています。

■アースリーのこだわり

●当事者意識をもった現地調査と見積もり(無料)

アースリーの現地調査とお見積もりは無料です。当事者意識を持って正確な調査を実施し、調査結果から公正かつわかりやすいお見積もりをお出しします。

●工事完了時の対応

工事報告書・保証書・施工写真などの各種書類をご提出します。

●工事完了後のおつきあい

竣工後は定期的に不具合の有無をお伺いします。
常にお客様とのコミュニケーションを大事にしたいと考えています。

■外装工事・防水工事のエキスパートとして守ること

●正直でわかりやすい説明

現場状況によっては、コストが大幅に増大するため受注につながらないケースや、私たち施工側にとって施工難易度や保証についてリスクが大きすぎるケースなど、お話ししづらいことがあります。ですが私たちは実状を正直にご説明し、お客様のご要望・ご予算を加味したうえで最良の工事をご提案します。

ご説明に際しては複数パターンのお見積りをご用意し、カタログや施工事例などの資料を交へ、順序立てて、ご理解いただけるまでわかりやすくご説明します。

●マナー・礼節へのこだわり

お客様が施工業者を選定されるポイントとしては、コスト・品質・実績、そして最近重視されているのがマナー・礼節です。常識として、作業前・作業終了時のご挨拶や喫煙・飲食についてのマナー、作業終了後の清掃などが挙げられます。

お客様の気持ちになって考えればわかるのですが、工事期間中には普段の生活にはない人の気配や視線、話し声、におい、騒音などのストレスが降りかかるてくるものです。お客様にご協力いただかなければならない部分でもありますが、「お客様の気持ちになる」をモットーに作業開始から終了までの期間のマナー・礼節を守って行動しています。

- 徹底的な調査・施工でお客様の信頼に応えます

漏水の原因がはっきりしないまま答えを濁して受注、着工、完了しても、その後同じように不具合が起きてまた同じことを繰り返してしまいかねません。お客様の出費が増えて漏水は直らない、という事態になってしまいます。

当社では、1つひとつの原因をはっきり究明してから次のステップに進むことを心がけています。原因がわからない場合は、可能性のある部分を順序立てて漸していくしかないとこともあります。そのため必ずお客様にて納得いただいたうえで施工に入ります。



施工への考え方

Thinking

外装工事のエキスパートとして、徹底的な調査からこだわりの責任施工まで、お客様の信頼に応えることを貫き通します。たとえば、当事者意識を持った現地調査とお見積もり、そして正直でわかりやすい説明などがそのはじまりにあたると考えています。



アフターケア&保証サービス

Aftercare

- 1.施工完了時に、工事報告書・保証書・施工写真をご提出します！
 - 2.定期的な点検巡回を行います！
 - 3.ご連絡があればすぐに駆けつけ、トラブルに対応します！

■ 保証について

- 工事完了後は、メーカー保証書を発行します。
保証期間は3~10年間(工法による)です。
 - 施工に起因する不具合は、工事を請け負った元請け業者ならびに施工業者の責任とします。
 - 材料品質に起因する不具合は、
材料製造業者の責任とします。

ただし、下記項目は除きます。

- (1)天災地変など、不可抗力と認められる場合
- (2)工事対象物の構造上または設計上の欠陥に起因する場合
- (3)防水施工個所以外からの漏水の場合
- (4)過失または故意による防水層損傷の場合

工事保証書	2008年6月28日
<u>箇中</u>	
1. 工事部位名	_____
2. 施工場所	_____
3. 施工期間	_____
4. T. 開 始 完 成 日 期 一 次 完 成 日 期	_____
5. 工事実績	_____
6. 施工技術	_____
上記に記載した、前項の事項は本工事の施工内容を含み、本工事の実績は上記のとおりである。 〔実績確認〕 ◎ 第二回定期検査の実施結果は、第一回定期検査の実施結果と同様に工事の実績として記載されました。 ◎ 本工事の施工内容は、第一回定期検査の実施結果と同様に工事の実績として記載されました。 ◎ 本工事の施工内容は、第一回定期検査の実施結果と同様に工事の実績として記載されました。 ◎ 本工事の施工内容は、第一回定期検査の実施結果と同様に工事の実績として記載されました。 ◎ 本工事の施工内容は、第一回定期検査の実施結果と同様に工事の実績として記載されました。 ◎ 本工事の施工内容は、第一回定期検査の実施結果と同様に工事の実績として記載されました。	
(承認用印)	